

1～4号機は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取組みをお知らせします。

2019年12月2日 発行

■ 本号の内容

- 福島県知事に発電所をご視察いただきました
- 発電所の業務をご紹介します
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- 「福島技能訓練施設」を設置しました
- 発電所データBOX



ゆずの収穫を迎える「ゆず太郎の郷（檜葉町）」撮影日:2019年11月13日

福島県知事に発電所をご視察いただきました

10月31日、内堀雅雄福島県知事に当所をご視察いただきました。

今回のご視察では、当所の概要や震災直後の対応、福島原子力事故の教訓を踏まえた安全への取り組みなどについてご説明させていただき、燃料を安定的に冷却・保管している使用済燃料プールや原子炉格納容器内などをご確認いただきました。

内堀知事からは「安全を確保するための維持・管理がしっかり行われている」「福島第一・第二の廃炉が安全に進むことが、福島復興・創生の大前提。総力を挙げて廃炉に取り組んでほしい」などのご意見をいただきました。

また、所員へ向けて激励のお言葉も頂戴いたしました。

引き続き、福島復興への責任を発電所一体となって、果たしてまいります。



燃料の保管状況について確認する内堀知事（左）

燃料の安定冷却

すべての燃料は使用済燃料プールで保管し、安定冷却を継続しています。
冷却設備の日々の巡視や、計画的なメンテナンスを行い、この安定した状態を維持しています。



原子炉格納容器内にて発電所長の石井から説明を受ける内堀知事（中央）



所員に向けて激励のお言葉を述べる内堀知事（中央）

発電所の業務をご紹介します

今回は
安全総括部 廃止措置準備グループです

当社は、7月31日に当所全号機の廃炉を決定し、9月に廃止準備プロジェクトチームを立ち上げておりましたが、長期にわたる廃炉作業を安全かつ着実に遂行するため、12月1日、発電所に廃止措置準備グループを設置しました。

当グループでは、廃炉作業に着手するため、法令に基づく廃止措置の認可取得に向けた、廃止措置計画および廃止措置段階の保安規定の準備、技術的な課題に関する所内の取りまとめ等を行っています。今後、現場の状況も踏まえた廃炉着手後の実施計画案を作成していく予定です。



廃止措置計画に関するテレビ会議

コミュニケーションを大切にしながら着実に前進

私は、廃止措置計画や保安規定の作成を担当しています。廃止措置計画には、原子炉施設の解体、核燃料物質による汚染の除去や汚染された物の廃棄等を記載し、保安規定には、廃止措置期間中における保安のために講ずべき措置を記載する必要があります。これらは国への申請を行い、認可を受けることとなります。

国の審査基準の他、先行して廃炉作業に着手している他電力の情報を収集しながら作成を行っています。

福島第二は前例のない全号機廃炉となりますが、地域のみならずご安心いただけるよう、廃炉作業に携わる一人として、引き続き安全の意識を高く持ちコミュニケーションを大切にしながら業務に取り組んでまいります。



安全総括部 廃止措置準備グループ
おおわだ たかし
大和田 敬
(広野町出身)

発電所構内の空間線量

(単位はマイクロシーベルト毎時)

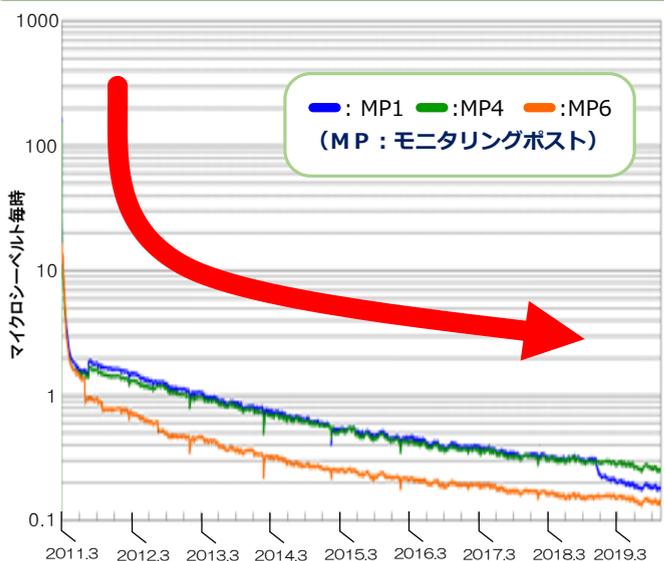
発電所構内のモニタリングポスト計測値 (MP1~7)

2019年11月27日 時点

0.09 [MP7] ~ 0.28 [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

震災から現在まで (2011年3月16日~2019年10月31日)



参考データ (単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所周辺町村の空間線量

富岡町 (柳瀬困難区域含む)	0.07 ~ 1.79	楢葉町	0.04 ~ 0.22
広野町	0.05 ~ 0.17	川内村	0.06 ~ 0.27

原子力規制委員会 放射線モニタリング情報より (2019年11月27日 時点)

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス (アメリカ)	0.10	ソウル (韓国)	0.12
上海 (中国)	0.59	ロッテルダム (オランダ)	0.33

出典：福島県放射線測定マップ、在大韓民国日本国大使館ホームページより

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて、1~4号機の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体	2,482体	2,544体	2,516体
1号機	2号機	3号機	4号機

「福島技能訓練施設」を設置しました

震災以前、原子力安全を維持するために必要な技術・技能の教育訓練については、福島第一原子力発電所構外に設置した「技能訓練センター」で行っていました。

震災以降は、福島第二原子力発電所構内の一部スペース等を使用し、継続していましたが、10月10日、当所協力企業棟内に「福島技能訓練施設」を設置し、開所式を行いました。

今後も、引き続き社員の教育訓練を行い、技術・技能の向上に努めてまいります。



実技・机上研修を行う教室



計器の校正方法についての実技研修



分解点検研修に使用する弁
(プラント設備と同型式)

発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,286人※です。(2019年10月1日現在)
※1日あたりの入構者数は約900~1,200人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	376人	1,577人	1,953人 (85%)
県外	63人	270人	333人 (15%)
合計	439人	1,847人	2,286人 (100%)

編集後記

広野町産バナナ「綺麗(きれい)」の販売が始まったと聞き、早速、二ツ沼総合公園で購入しました。

バナナは、とても香りが豊かで、一つひとつ丁寧に包装されていたため、高級感がありました。食べるのがもったいない気がしましたが、無農薬栽培で皮ごと食べられると聞き、生まれて初めて皮ごと食べてみました。いつもと違った味わいのバナナを楽しみました。 【吉】



福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃炉作業を進めてまいります。



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/nu/f2-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒979-0695 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12
Tel 0240-25-1353 (受付時間(平日)午前9時～午後5時)
fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)